



2014年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2013年7月3日

上場会社名 イオン九州株式会社 上場取引所 大
 コード番号 2653 URL <http://www.aeon-kyushu.info/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山口 聡一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営管理本部長 (氏名)榊 隆之 (TEL)092(441)0611
 四半期報告書提出予定日 2013年7月12日 配当支払開始予定日 年 月 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2014年2月期第1四半期の業績(2013年3月1日~2013年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2014年2月期第1四半期	59,856		388		166		151	
2013年2月期第1四半期	58,868	0.2	464		242		207	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2014年2月期第1四半期	8 05	
2013年2月期第1四半期	11 07	

(注)2013年2月期は12ヶ月8日の変則決算であり四半期累計期間が異なるため対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2014年2月期第1四半期	107,459	21,144	19.6
2013年2月期	109,822	21,256	19.3

(参考) 自己資本 2014年2月期第1四半期 21,096 百万円 2013年2月期 21,218 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2013年2月期		0 00		13 00	13 00
2014年2月期					
2014年2月期(予想)		0 00		13 00	13 00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 配当の内訳 2013年2月期 普通配当 10円 記念配当 3円
 2014年2月期(予想) 普通配当 13円

3. 2014年2月期の業績予想(2013年3月1日~2014年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	124,300		450		400		100		5 33
通期	253,000		3,100		2,850		1,200		63 93

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2013年2月期は12ヶ月8日の変則決算であり四半期累計期間が異なるため対前年同四半期増減率及び対前期増減率は記載しておりません。

注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2014年 2 月期 1 Q	18,787,619株	2013年 2 月期	18,787,619株
期末自己株式数	2014年 2 月期 1 Q	18,149株	2013年 2 月期	17,939株
期中平均株式数 (四半期累計)	2014年 2 月期 1 Q	18,769,550株	2013年 2 月期 1 Q	18,769,051株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
第1四半期累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における九州経済は、経済・金融政策による株価の回復や円安基調への転換により景気回復への期待が高まるものの、電気料金値上げによる生活防衛意識は、お客さまの節約志向に引き続き影響を与えております。また、原材料の高騰や競争環境の激化など、当社に与える経営環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社は新たな店舗展開や既存店の活性化、魅力ある商品の展開、サービスのご提供など、お客さまニーズへのさらなる対応を図ることで九州の成長とお客さまの暮らしの豊かさに貢献できるよう努めてまいりました。

<業績全般の概況>

当第1四半期累計期間の営業収益は598億56百万円、売上高は562億11百万円となりました。

営業損失は3億88百万円、経常損失は1億66百万円、四半期純損失は1億51百万円となりました。

(注)2013年2月期は12ヶ月8日の変則決算であり四半期累計期間が異なるため対前年同四半期増減率は記載しておりません。

<主な取り組み事項>

〔新規出店の取り組み〕

- ・「近くて便利なイオンのお店」をコンセプトとした「ワイドマート ドラッグ&フード」では、2013年4月12日、大分県では3店舗目となる「ワイドマート ドラッグ&フード森町店」をオープンするとともに、同年4月25日には、福岡県内では初めての出店となる「ワイドマート ドラッグ&フード壱岐団地店」を福岡市西区にオープンいたしました。

〔既存店活性化の取り組み〕

- ・総合スーパー（GMS）では、多様化するお客さまのライフスタイルやニーズへ対応するため、「イオン佐賀大和店（佐賀県佐賀市）」、「イオン八幡東店（北九州市八幡東区）」、「イオン福岡東店（福岡県糟屋郡）」、「イオン原店（福岡市早良区）」、「イオン香椎浜店（福岡市東区）」などで、イオンのブランド「トップバリュ」を中心としたプライベートブランドの拡充、簡単で便利にご利用いただける「トップバリュ レディーミール」を中心としたフローズン商品の拡充、品揃えからサービスまで高い専門性を有する売場を導入し、地域のお客さまのご要望にお応えできるよう既存店活性化に取り組んでまいりました。
- ・ホームセンター（HC）では、「ホームワイド高千穂店（宮崎県西臼杵郡）」の増床活性化を実施いたしました。農業・林業に従事されているお客さまのご要望にお応えできるよう、農作業用品の強化や作業衣料の品揃えの拡大や、一般のお客さま向けのDIY商品からプロユースまで幅広いニーズに対応できる作業工具・作業用品の商品展開を拡大してまいりました。

〔専門店化の取り組み〕

- ・GMSでは、多様化するお客さまのライフスタイルやニーズへの対応として、専門性の高い品揃えやサービスを提供する「専門店化」を進めております。
お客さまにぴったりのサイクルライフをご提案する「イオンバイク」、手編み・刺しゅう・パッチワークなど手作りの喜びと楽しさを提案する「パンドラハウス」、短期間の国内旅行から長期間の海外旅行まで旅行準備をご提案する「トラベル売場」、直輸入ワインからビール・ウイスキー・焼酎・日本酒など国内外の銘酒を取り揃えた「リカー売場」、お花のある生活を提案する「ガーデニング売場」、照明器具の取り付けや、ふすまの張替えなど生活のサポートからキッチン・浴室・トイレ・太陽光発電を提案する「リフォーム売場」などの展開に取り組ましました。

〔商品面・販促面の取り組み〕

- ・ イオンのブランド「トップバリュ」の認知度向上を図るため、毎月1日～7日までの1週間を「トップバリュ週間」と位置づけ、お試し価格でご提供するなど販売強化に努めております。
- ・ 食品の取り組みでは、魚や野菜など新鮮地場産品を中心に、旬やおいしさにこだわった商品を豊富に品揃えした「自慢の市」を、火曜日・土曜日に実施いたしております。
- ・ 地産地消の推進として、食料品を中心に店舗ごとに地場産品の積極的な販売に努めるとともに、「熊本うまいものフェア」「情熱!みやざきフェア」「鹿児島うまいものフェア」と題して、九州各県の特産品を当社のイオン店舗で販売する取り組みを行っております。
- ・ 当社は、2012年6月29日に誕生40周年を迎えたことを記念し、お客さまへ感謝の気持ちを込めてイオン九州誕生40周年記念セールを継続実施いたしました。
- ・ 2013年4月3日、「イオン福津店(福岡県福津市)」「イオン筑紫野店(福岡県筑紫野市)」で、おサイフケータイを活用した、「イオンスクエアかざすサービス」を開始いたしました。

〔イオンネットスーパーの取り組み〕

- ・ 2013年3月9日より、宮崎市中心部エリアに商品を配送するサービスを開始いたしました。また、同年4月4日より、鹿児島県内全域(離島は除く)に商品を配送するサービスを開始いたしました。

〔環境保全・社会貢献の取り組み〕

- ・ 2013年4月18日、福岡県との包括提携協定の共助社会づくり活動の取り組みとして、当社及びマックスバリュ九州株式会社は、電子マネー「ふくおか 共創WAON」の利用額の0.1%を寄附金として、福岡県へ贈呈させていただきました。この寄附金は、福岡県を通じて「ふくおか地域貢献活動サポート事業」の支援に役立てていただきます。
- ・ 2013年3月9日から11日の3日間、東日本大震災の被災地の子どもたちを応援する「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施いたしました。期間中に投函していただいたレシート合計金額は約7億14百万円となり、その1%に当たる7百万円をグループ他社からの寄付とあわせ、福島県・岩手県・宮城県に贈呈いたしました。
- ・ 毎月11日の「イオン・デー」に地域のボランティア団体等への支援として実施している「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」においては、2013年2月期に投函していただいたレシート合計金額は約25億64百万円となり、その1%に当たる物品を贈呈させていただきました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

【資産】

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて23億63百万円減少し、1,074億59百万円となりました。これは主に差入保証金の減少によるものであります。

【負債】

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて22億51百万円減少し、863億14百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことに対し、未払法人税、流動負債のその他に含まれている預り金及び長期借入金が増加したことによるものであります。

【純資産】

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて1億11百万円減少し、211億44百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、概ね計画どおりに推移しており、2013年4月9日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2013年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2013年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,446	2,573
受取手形	15	14
売掛金	879	1,202
商品	24,206	23,726
その他	8,093	7,289
貸倒引当金	13	2
流動資産合計	35,628	34,803
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	35,659	35,441
その他(純額)	16,727	16,843
有形固定資産合計	52,387	52,285
無形固定資産	104	100
投資その他の資産		
差入保証金	14,554	12,900
その他	7,148	7,370
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	21,702	20,270
固定資産合計	74,194	72,655
資産合計	109,822	107,459
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,890	1,673
電子記録債務	5,756	4,759
買掛金	16,753	17,669
短期借入金	6,548	8,730
1年内返済予定の長期借入金	10,105	10,030
コマーシャル・ペーパー	500	500
未払法人税等	1,121	80
賞与引当金	599	1,064
その他	15,702	14,136
流動負債合計	58,978	58,644
固定負債		
長期借入金	18,060	16,200
退職給付引当金	279	287
資産除去債務	1,262	1,271
その他	9,986	9,911
固定負債合計	29,588	27,670
負債合計	88,566	86,314

(単位:百万円)

	前事業年度 (2013年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2013年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,144	3,144
資本剰余金	9,192	9,192
利益剰余金	7,706	7,311
自己株式	31	32
株主資本合計	20,012	19,616
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,206	1,479
評価・換算差額等合計	1,206	1,479
新株予約権	38	48
純資産合計	21,256	21,144
負債純資産合計	109,822	107,459

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2012年2月21日 至2012年5月20日)	当第1四半期累計期間 (自2013年3月1日 至2013年5月31日)
売上高	55,178	56,211
売上原価	40,365	41,092
売上総利益	14,812	15,119
その他の営業収入	3,690	3,644
営業総利益	18,502	18,764
販売費及び一般管理費	18,967	19,152
営業損失()	464	388
営業外収益		
受取利息	16	14
受取配当金	15	18
テナント退店違約金受入	25	10
補助金収入	20	15
差入保証金回収益	216	214
その他	31	47
営業外収益合計	326	321
営業外費用		
支払利息	86	78
その他	17	20
営業外費用合計	104	98
経常損失()	242	166
特別損失		
固定資産除売却損	17	-
店舗閉鎖損失	-	8
特別損失合計	17	8
税引前四半期純損失()	260	174
法人税、住民税及び事業税	75	57
法人税等調整額	127	81
法人税等合計	52	23
四半期純損失()	207	151

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1) 前第1四半期累計期間(自 2012年2月21日 至 2012年5月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の 事業 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 損益計算書 計上額 (注) 4
	総合小売 事業	ホームセン ター事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	48,522	6,182	54,705	472	55,178		55,178
セグメント間の内部売上高 又は振替高							
計	48,522	6,182	54,705	472	55,178		55,178
セグメント利益又は損失 () (注) 1	559	108	450	33	417	881	464

(注) 1. セグメント利益又は損失()は、社内管理利益によっております。

2. 「その他の事業」の区分は、総合小売事業とホームセンター事業に属さない販売形態の店舗で、現在は「ワイドマート ドラッグ&フード」「イオンバイク」を展開しております。

3. セグメント利益又は損失()の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門の一般管理費であります。

4. セグメント利益又は損失()は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2) 当第1四半期累計期間(自 2013年3月1日 至 2013年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の 事業 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期 損益計算書 計上額 (注)4
	総合小売 事業	ホームセン ター事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	49,534	6,052	55,586	625	56,211		56,211
セグメント間の内部売上高 又は振替高							
計	49,534	6,052	55,586	625	56,211		56,211
セグメント利益又は損失 () (注)1	713	90	622	81	540	929	388

(注) 1. セグメント利益又は損失()は、社内管理利益によっております。

2. 「その他の事業」の区分は、総合小売事業とホームセンター事業に属さない販売形態の店舗で、現在は「ワイドマート ドラッグ&フード」「イオンバイク」を展開しております。

3. セグメント利益又は損失()の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門の一般管理費であります。

4. セグメント利益又は損失()は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2013年3月1日付で組織の見直しを行い、「ワイドマート ドラッグ&フード事業」を今後の事業展開に向け、ホームセンター事業部の傘下から切り離し単独組織といたしました。これに伴い当第1四半期会計期間より「ホームセンター事業」に含まれていた「ワイドマート ドラッグ&フード事業」を「その他の事業」へ移動しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。